

# リスクのある乳児ではHIV-1感染の 早期診断がきわめて重要

- HIVに曝露された乳児は、生後約15～18カ月まで母親のHIV-1抗体を保有している。
- したがって、小児の診断は、HIV-1 DNAまたはHIV-1 RNA定量（PCR法）を用いたウイルスの同定に頼っている。
- 感染を可能な限り早期に特定するためには、出生後最初の6カ月および授乳期を通してPCR検査を繰り返し行うことが重要である<sup>1-4</sup>。
- HIV感染のタイミングが臨床経過を予測する<sup>5</sup>。
  - 子宮内で感染した乳児は、AIDSの早期発症に至ることが多い。

1. Bryson YJ, et al. *N Engl J Med*. 1992;327:1246-1247. 2. Fowler MG, Newell ML. *J Acquir Immuno Defic Syndr*. 2002;30:230-9.  
3. Dunn DT, et al. *Lancet*. 1992;340:585-588. 4. Nielsen K, Bryson YJ. *Pediatr Clin N Amer*. 2000;47:39-63.  
5. Dickover RE, et al. *J Infect Dis*. 1994;170:1279-1284.